

第18回 仙北市 国家戦略特別区域会議 仙北市提出資料

令和8年5月27日



国家戦略特区の利活用を促進するための 「仙北市国家戦略特区推進センター」の設置

計画追加

特区制度全般の利活用相談に一元的に対応する「仙北市国家戦略特区推進センター」を新たに設置

背景、効果等

背景・課題

- ・既存の仙北市近未来技術実証ワンストップセンターは名称から近未来技術実証に限定された支援機関と誤解されやすい。
- ・近未来技術以外の特区メニューに関する相談が生じにくく、特区制度の活用機会を逃している。

実施内容

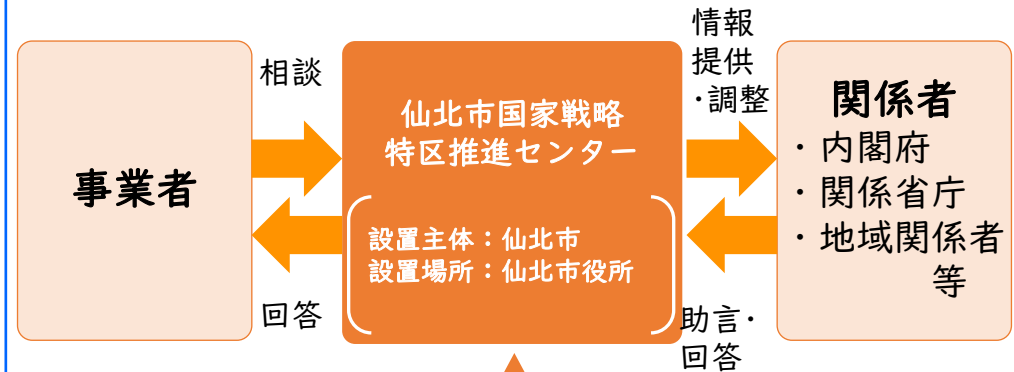
- ・仙北市国家戦略特区推進センターを新設し、特区制度全般の活用促進を図る。
- ・国家戦略特区制度に係る幅広い相談・情報提供・関係機関との調整を一元的に行う。

効果

- ・幅広い規制改革の可能性を早期に把握することで、イノベーションの創出が加速し、新規事業の実現が図られる。
- ・特区制度の認知度が向上し、規制改革提案が増加し、特区制度の利活用の促進が図られる。

概要

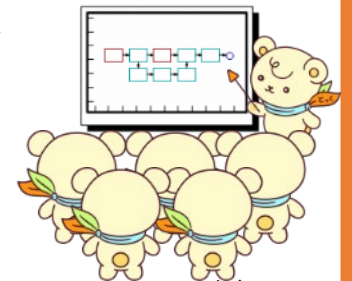
仙北市国家戦略特区推進センターのイメージ



- ・特区制度に関する相談窓口の設置・ワンストップ支援
- ・企業・地域事業者等への制度情報の提供・説明
- ・規制改革メニューの活用・新規提案に向けた調整支援
- ・セミナー・広報等による普及啓発・利用促進
- ・その他、国家戦略特区の利活用の推進に必要な支援



相談・支援



セミナー・広報

国家戦略特区の利活用を促進するための 「仙北市国家戦略特区推進センター」の設置

計画追加

特区制度に関する相談窓口の設置 ・ワンストップ支援

- 【現状】仙北市近未来技術実証ワンストップセンターの事業内容の一部として、国家戦略特区制度を活用した規制緩和に係る相談を受付
- 【今後】国家戦略特区制度を活用した規制緩和の相談・情報提供・調整支援・利用促進に幅広く対応



規制改革メニューの活用 ・新規提案に向けた調整支援

- ・センター職員が市内事業者を直接訪問してヒアリングを実施
- ・規制改革の新規提案に係る申請支援
- ・意見聴取や事後フォローアップの実施



企業・地域事業者等への制度情報の提供・説明

- ・仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンターとの連携
- ・仙北市DX推進ラボでの周知
- ・センター職員による個別訪問・出前説明



仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンター

セミナー・広報等による普及啓発・利用促進

- ・市内事業者向け説明会の実施
- ・仙北市HPや仙北市DX推進ラボHPでの広報
- ・具体的なユースケースの展開



説明会のイメージ



仙北市DX推進ラボHP

上記のほか、国家戦略特区の利活用の推進に必要な支援も行います。

施設の概要

- ・ 令和3年3月、国及び仙北市を主体に仙北市役所内に設置。
- ・ 近未来技術（AI・IoT、自動運転、無人航空機等）の実証実験を促進するため、実証実験を実施しようとする者に対し、必要な手続に関する情報提供、相談、助言その他の援助を行う。

終了の経緯

- ・ 設立当初はニーズがあったが、近未来技術が実装フェーズに移行し、実証実験の支援ニーズは減少している。
- ・ 自動運転・無人航空機・AI・IoT等の実証実験に関する相談はほとんどなく、相談の大部分は国家戦略特区に係る規制緩和の相談となっている。

今後の対応

- ・ 令和8年度中に、国家戦略特区の利活用を促進するための「仙北市国家戦略特区推進センター」を新たに設置し、相談対応体制の最適化を図る。
- ・ 国家戦略特区制度を活用した規制緩和の推進に引き続き注力し、地域の産業競争力の強化と国際的な経済活動拠点の形成を目指す。

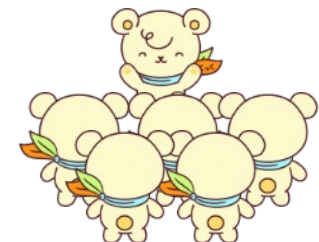


ワンストップセンターの概要



過去の実証実験の様子

産業競争力の強化！！
 経済活動拠点の形成！！



(参考) これまでの主な取組

1. 汎用ドローンを活用したオルソ化

土砂災害が起きた場合、被災状況を一元把握する仕組みの実現に向け、汎用ドローンの空撮画像を効率よく重ね合わせ、傾きやゆがみのない精細な地図状の画像にする実証を令和4年10月に行った。



空撮画像を合成した地図状の画像

2. AIカメラ等を用いた市民バスの乗降調査

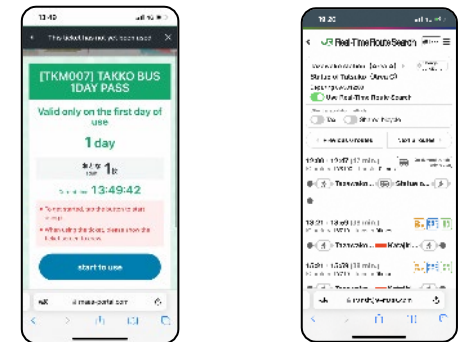
乗降調査では、調査員ではなく、AIカメラを活用して画像認識で乗降客数をカウントした。本実証は令和5年6月～12月に実施した。プライバシーに配慮して、画像データは分析後に削除し、個人情報に残らない形で運用した。



AIカメラ等設置準備の様子

3. 外国人を対象としたMaaSの実証運行

インターナショナルスクールの誘致と併せて、訪日外国人が言語の壁を意識せずに利用できるMaaSの実証運行を令和6年8月～11月に実施した。



MaaSのアプリ画面

今後、実証実験から実装に向けて多方面で取り組めます。